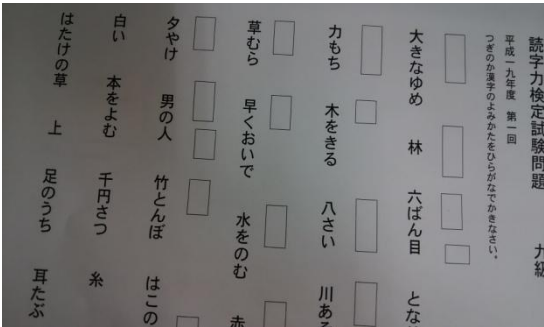



教材・教具名 「見え方に特徴のある生徒の読み書き教材」

所属部署 高等部

- 1 対象となる生徒
見え方に特徴のある生徒
- 2 教材を使用する活動
 - ①国語の漢字学習（や短い文を記入する）プリント教材
 - ②本読みをする時に読み違いをなくす
- 3 ねらい
 - ・自分で文字を書ける生徒の学習意欲を維持・向上させる
 - ・誰が見ても判読でき、達成感を味わうことができる
 - ・自分で本を読む楽しみを味わう。

教材の使い方	配慮点
<p>①まず見やすいように拡大コピーし、その漢字の横に枠を書いていく。生徒はその枠に読み仮名を書く。</p>  <p>②文がまとまってある(教科書等)とどこを読んでいるかわからなくなる生徒に対し、一行分ずつずらして使う。</p> 	<p>○最初は一文字分ずつ枠を書いていた。少し慣れてきた時点で大枠だけ書くようにした。</p> <p>○枠を設けることによって、文字がばらばらにならず、判読しやすい。(プリントを解答用紙と問題用紙に分けると訳がわからなくなってしまうので漢字のすぐ横に書き込める形式が最適。)</p> <p>○生徒の使う教科書の文字数、行間を考慮して枠取りをする。</p> <p>○手に麻痺のある生徒はずらす作業もままならないので、教師の補助が必要。</p>